

みられるが、輸出が堅調で高めの水準。工作機械は国内外受注とも増加。半導体集積回路や液晶はスマートフォン向けを中心に増えた。一方、消費では乗用車販売が弱含んでいる。先行きについては海外経済の下振れや労働力不足を懸念する。

設備投資も好調。ただ住宅建設は前年を下回り、アルミ建材の生産が減少している。設備投資や企業収益も14年度は増加見込み。有効求人倍率が上昇するなど雇用情勢も改善している。個人消費は飲食料品を中心に緩やかに回復しつつある。

電、乗用車が前年を下回っている。輸出はアジアや米国向けが増え前年を上回っている。生産は電子部品・デバイスが上昇し緩やかに持ち直している。設備投資は生産用機械や情報通信機が前年を上回っている。雇用は緩やかに改善しつつある。

14年12月の総受注高は449億8200万円(前年同月比23・9%増)と4カ月連続のアップ。国内は155億6300万円(同29・1%増)、海外は294億1900万円(同21・3%増)。

土石が公共工事向けで一服感が見られる。金属製品は首都圏向けの需要増で緩やかに回復。化学・石油石炭は外需の増加で持ち直し。パルプ・紙も持ち直しの動き。14年度の設備投資は前年度を上回る見通し。雇用情勢は改善の動きに一服感。

国内自動車向けや海外鉄道向けが好調。電子部品・デバイスは海外スマホ向けなどが、自動車は新車輸出向けが増加。九州財務局管内は基調としては引き続き持ち直してきている。車載向け部品の受注が堅調に推移するなど増加している。

た14年度設備投資も「前年度を上回る見込み」に上方修正した。観光は引き続き「回復している」と好調で、企業の報奨旅行など国内客が増えているほか、外国客も航空路線の拡充などにより大幅に増加。雇用情勢も緩やかに回復しつつある。

昨年の中部工作機械受注

2年連続プラス

【名古屋】中部経済産業局が28日にまとめた2014年の管内工作機械メーカー主要8社の受注総額は4523億1100万円(前年比13・7%増)と2年連続で前年を上回った。

14年12月の総受注高は449億8200万円(前年同月比23・9%増)と4カ月連続のアップ。国内は155億6300万円(同29・1%増)、海外は294億1900万円(同21・3%増)。

明を受けて本社工場を見学。位置決めスイッチやセンサーを組み立てる様子に、見学者からは「監視されていないのに黙々と作業している」「整理整頓されていてきれい」など驚きの声が上がった。

一行は31日まで多摩地域の企業、大学、研究機関などを視察する予定だ。

東京・多摩の中小訪問

タイTPA視察団 作業内容に関心

【立川】タイの中小企業の技術向上や販路開拓を支援する泰日経済の幹部職員16人が来日した。28

の中小企業支援策や高度な技術を持つ中小製造業を見学することで、タイの中小製造業の技術向上に役立てる。

「従業員の70%を占める女性が活躍している」(松橋卓司社長)との説

【さいたま】埼玉県、埼玉県産業振興公社、埼玉県情報サービス産業協会と県内6金融機関が主催する国内最大級の展示商談会「彩の国ビジネスアリーナ2015」(日刊工業新聞社など後援)

が28日、さいたま市中央区のさいたまスーパーアリーナで開幕した。619企業・団体が出展し、さまざまな産業分野の技術や製品、サービスを展示。来場者の関心を集めている。会期は29日まで。2日間約1万6500人の来場を見込む。

今回は航空・宇宙、次世代自動車・ロボット、医療、次世代住宅といった分野をまとめた「先端産業ゾーン」を設置した。野球解説者の宮本慎也氏

【千葉】千葉県信用保証協会と日本政策金融公庫国民生活事業(千葉支店、館山支店、松戸支店、船橋支店)は28日、千葉市中央区内で県内全11金融機関と「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」を調印した(写真)。2月1日から



【千葉】千葉県信用保証協会と日本政策金融公庫国民生活事業(千葉支店、館山支店、松戸支店、船橋支店)は28日、千葉市中央区内で県内全11金融機関と「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」を調印した(写真)。2月1日から

619企業・団体出展

展示商談会 先端産業ゾーン開設

埼玉県、埼玉県産業振興公社、埼玉県情報サービス産業協会と県内6金融機関が主催する国内最大級の展示商談会「彩の国ビジネスアリーナ2015」(日刊工業新聞社など後援)



【立川】タイの中小企業の技術向上や販路開拓を支援する泰日経済の幹部職員16人が来日した。28

の中小企業支援策や高度な技術を持つ中小製造業を見学することで、タイの中小製造業の技術向上に役立てる。

「従業員の70%を占める女性が活躍している」(松橋卓司社長)との説

【さいたま】埼玉県、埼玉県産業振興公社、埼玉県情報サービス産業協会と県内6金融機関が主催する国内最大級の展示商談会「彩の国ビジネスアリーナ2015」(日刊工業新聞社など後援)

が28日、さいたま市中央区のさいたまスーパーアリーナで開幕した。619企業・団体が出展し、さまざまな産業分野の技術や製品、サービスを展示。来場者の関心を集めている。会期は29日まで。2日間約1万6500人の来場を見込む。